

2023 年 2 月 16 日

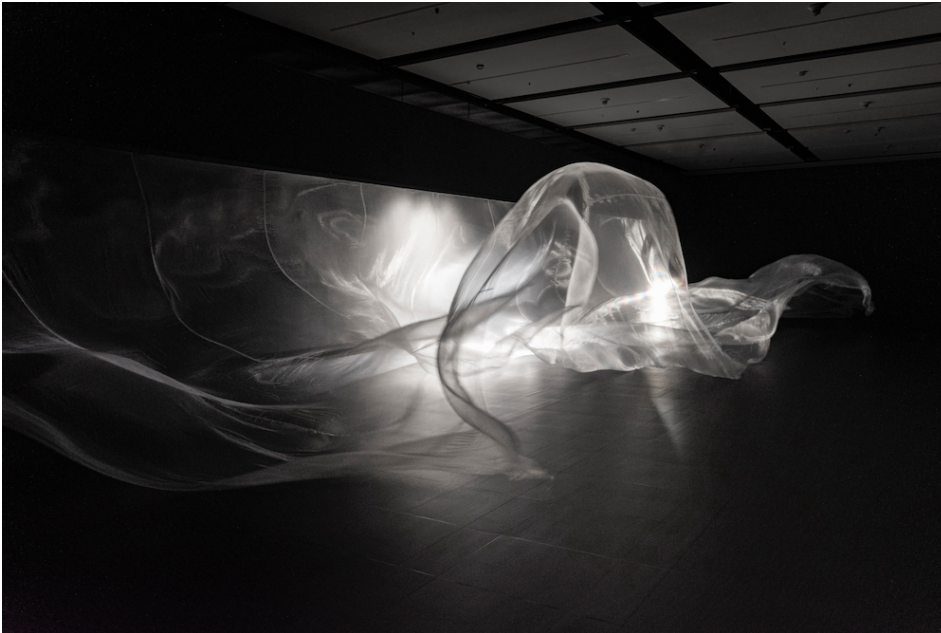
Press Release

弘前れんが倉庫美術館 2023 年度 展覧会 [春夏プログラム]

大巻伸嗣—地平線のゆくえ

会期：2023 年 4 月 15 日（土）－ 10 月 9 日（月・祝）

会場：弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）



《Liminal Air Space-Time》2020年 展示風景：「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年）
Photo: Mind Set Art Center [参考図版]

弘前れんが倉庫美術館では、2023年4月15日（土）から10月9日（月・祝）まで2023年度春夏プログラムとして、東北地方初となる大巻伸嗣の個展を開催します。

大巻は、空間全体をダイナミックに変容させ、観る人を異世界に誘うような幻想的なインスタレーション作品やパブリックアートを数多く手がけています。またアジアやヨーロッパなど世界各地でその土地の風土や記憶を反映させた作品を発表しています。展覧会に先駆けて、大巻は青森県内各地の風物や自然、信仰の形などを取材し、人々の声に耳を傾けるなかで、人や自然、物質世界や精神世界の生と死が円環を成すような死生観というテーマにたどり着きました。

本展では、近年の代表作の一つである「Liminal Air Space-Time」のシリーズをはじめとする新作インスタレーションを中心に紹介します。同シリーズでは、一枚の薄い布が大きく波打つように有機的に動き、人々のなかに眠っている身体感覚を呼び覚まします。私たちが普段感じるできない時間や空間における境界の揺らぎや目に見えない重力について体感することで、世界の存在そのもの、生と死、崩壊と創造などの根源的な問いに静かに向き合う時空間が生まれます。弘前の土地と人々の記憶が堆積し、展示空間へと生まれ変わった美術館に大巻の紡ぐ再生と創造の物語が重なり、新たな風景が広がることでしょう。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

展覧会のみどころ

1. 津軽に生きる地元の人々と一緒に制作した新作を発表

展示室1階では、大巻伸嗣の代表作の一つである「Liminal Air Space-Time」シリーズの新作インスタレーションを、津軽地方で日々の生活を営んでいる方々の声を集めて制作します。青森県内で大巻が初めて目にした海辺の風景や、力強くも暖かく包み込むような独特な波のイメージや音を、鑑賞者が身体全体を使って感じることができるような作品が、高さ15mの巨大な吹き抜け空間に生まれます。

2. 一枚の柏の葉から始まる旅のような展示構成

本展では、弘前市鬼沢地区に残っている鬼が腰掛けたという伝説のある柏の木の葉をモチーフとした作品を、展覧会のはじめと終わりに象徴的に用いています。春になり、新しい葉が芽吹くまで落葉しないという柏の葉の姿を、一つの世代からまた次の世代へと引き継いでいく人間の生と死の営みと重ね合わせて作品化します。本展では、一枚の柏の葉から始まり、大巻の創り出す作品世界を一つ一つ旅するように巡っていく展示構成となっています。

3. 花がつなげる過去と未来

展示室2階では、大巻のもう一つの代表作「Echoes-Infinity」シリーズの新作バージョンが登場します。展示室内の白いフェルトの床一面に描かれた色とりどりの花や紋様には、大巻が青森県内各地で見つけた植物や風物、紋様の形や色が入り入れられています。観客はその中央を歩いていきながら、雪の白から生まれ出るような春の光と色の世界に包まれます。鑑賞者自身の中に折り込まれた過去と未来の時間、大きな自然のもつ時間の流れ、物事や世界の始まりと終わりなど、さまざまな時間の層に思いを馳せるような体験を楽しむこととなるでしょう。



《Echoes Infinity -永遠と一瞬-》2016年
展示風景：「あいちトリエンナーレ2016」
愛知芸術文化センター 愛知県美術館（2016年）
Photo: Tetsuo Ito [参考図版]



手前 《Flotage + Liminal Air core -天・地》2020年
奥 《Abyss》2020年
展示風景：「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年）
Photo: Mind Set Art Center [参考図版]

作家プロフィール

大巻伸嗣 OHMAKI Shinji

1971年岐阜県生まれ。神奈川県在住。

「存在」とは何かをテーマに制作活動を展開する。環境や他者といった外界と、記憶や意識などの内界、その境界である身体の関係性を探り、三者の間で揺れ動く、曖昧で捉えどころのない「存在」に迫るための身体的時空間の創出を試みる。

主な個展に「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年）、「まなざしのゆくえ」ちひろ美術館・東京（2018年）、「存在の証明」箱根彫刻の森美術館（神奈川、2012年）などがある。あいちトリエンナーレ（愛知、2016年）、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ（新潟、2014年-）、アジア・パシフィック・トリエンナーレ（オーストラリア／ブリスベン、2009年）、横浜トリエンナーレ（神奈川、2008年）などの国際展にも多数参加。



Photo: paul barbera / where they create

関連プログラム

オープニングトーク

出演 | 大巻伸嗣、渡辺真也（インディペンデント・キュレーター、本展共同キュレーター）

モデレーター：難波祐子（弘前れんが倉庫美術館 アジャクト・キュレーター、本展キュレーター）

日時 | 2023年4月15日（土）14:00-15:30

会場 | ライブラリー

料金 | 参加無料

申込み | <http://20230415openingtalk.peatix.com> 電話 0172-32-8950

定員 | 50名（事前予約優先）

会期中は、学芸スタッフによるギャラリーツアーのほか、イベントの開催を予定しています。

各イベントの詳細、申込み方法は決定次第、当館ウェブサイトで発表します。



《Echoes Crystallization-Formosa》2020年
展示風景：「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年）
Photo: Mind Set Art Center [参考図版]



部分

開催概要

展覧会名：	大巻伸嗣—地平線のゆくえ
会期：	2023 年 4 月 15 日（土）－ 10 月 9 日（月・祝）
会場：	弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市吉野町 2-1）
開館時間：	9:00－17:00（入館は閉館の 30 分前まで）
休館日：	火曜日 ※ただし、4 月 25 日（火）、5 月 2 日（火）、8 月 1 日（火）は開館
観覧料〔税込〕：	一般 1300 円（1200 円） 大学生・専門学校生 1000 円（900 円） ※（ ）内は 20 名様以上の団体料金 ※ 以下の方は無料 高校生以下の方/弘前市内の留学生の方/満 65 歳以上の弘前市民の方 ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方/障がいのある方と付添の方 1 名
主催：	弘前れんが倉庫美術館
特別協賛・特別協力：	株式会社青南商事
特別協賛：	スターツコーポレーション株式会社
協賛：	株式会社大林組、株式会社NTTファシリティーズ
協力：	株式会社Luxonus、株式会社ヤマハミュージックジャパン、華陽堂、 恒川フェルト工業株式会社、田島ルーフィング株式会社、株式会社エイブラフト、 株式会社エイテック、株式会社SELECT D、アートフロントギャラリー、 Mind Set Art Center
後援	東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、青森放送、青森テレビ、 青森朝日放送、エフエム青森、FM アップルウェーブ、弘前市教育委員会
キュレーター：	難波祐子（弘前れんが倉庫美術館 アジャンクト・キュレーター）
共同キュレーター：	渡辺真也（インディペンデント・キュレーター）
一般問合せ：	TEL：0172-32-8950
アクセス：	JR 弘前駅より - 弘南バス・土手町循環 100 円バス「蓬萊橋」下車 徒歩 約 5 分 - 徒歩 約 20 分 - タクシー 約 7 分
ウェブサイト：	http://www.hirosaki-moca.jp
SNS：	Instagram：@hirosaki_moca Twitter：@hirosaki_moca Facebook：@hirosaki.moca

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当: 大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

2023年2月16日

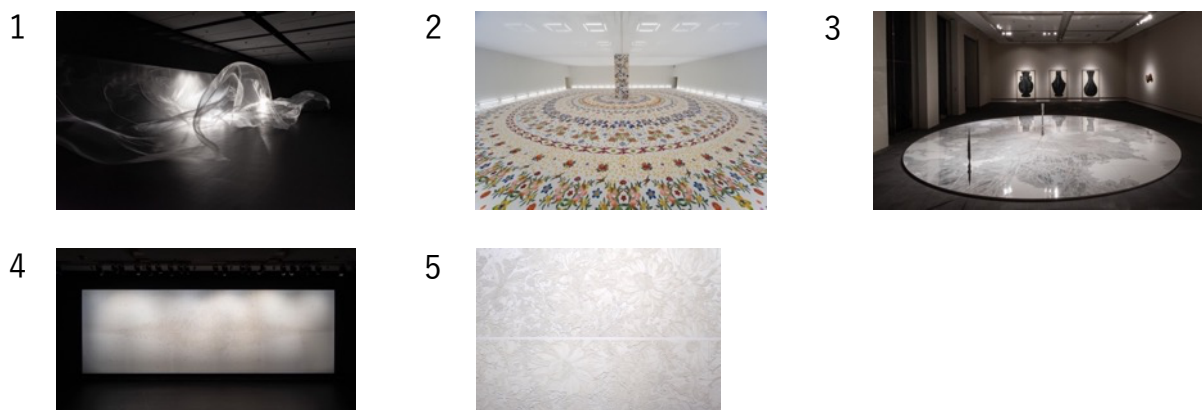
E-MAIL: press@hirosaki-moca.jp / FAX: 0172-55-5982 宛

弘前れんが倉庫美術館
「大巻伸嗣—地平線のゆくえ」
会期：2023年4月15日（土）－10月9日（月・祝）
広報画像申請書

▼貴媒体についてお知らせください。

媒体名	貴社名	
ご担当者名	所属部署	
ご住所 〒		
TEL	FAX	E-MAIL
掲載・放映予定日	月	日

読者プレゼントのご希望 ☐希望する 組 名様（2023年6月末日迄 掲載対象） ☐希望しない
*画像1点以上ご掲載の場合、本展の招待券10枚まで提供します。 / 美術館までの交通費は自己負担のご案内をお願いします。
ご希望画像の番号に○印をつけてください。広報画像には下記のキャプション・クレジットを併記してください。



- 大巻伸嗣《Liminal Air Space-Time》2020年
展示風景：「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年） Photo: Mind Set Art Center [参考図版]
- 大巻伸嗣《Echoes Infinity -永遠と一瞬-》2016年
展示風景：「あいちトリエンナーレ2016」愛知芸術文化センター 愛知県美術館（2016年） Photo: Tetsuo Ito [参考図版]
- 大巻伸嗣 手前 《Flotage + Liminal Air core -天・地》2020年 奥 《Abyss》2020年
展示風景：「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年） Photo: Mind Set Art Center [参考図版]
- 大巻伸嗣《Echoes Crystallization-Formosa》2020年
展示風景：「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年） Photo: Mind Set Art Center [参考図版]
- 大巻伸嗣《Echoes Crystallization-Formosa》（部分）2020年
展示風景：「存在のざわめき」関渡美術館（台湾／台北、2020年） Photo: Mind Set Art Center [参考図版]

<広報画像の取り扱いについて>

- 広報画像の使用は展覧会をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。
- 広報画像をご紹介いただく場合、指定のキャプションとクレジットを必ずご記載ください。
- 全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせはご遠慮ください。
- 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、可能な範囲でグラ刷り・原稿の段階で広報までメールまたはFAXでお送りください。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1